

③ 島根県石見地域の「インフラツーリズム」の取組み

受賞機関 島根県 浜田県土整備事務所

キーワード インフラツーリズムガイド、ドローンによる空撮、SNSによる情報発信

全建賞審査委員会の評価ポイント

島根県石見地域における魅力を広く紹介する「インフラツーリズムガイド」の制作や、SNSなど様々なツールを活用した情報発信の取組。手作り感のある取組である点や、観光部局や地元テレビ局等とも協力し、幅広い層を対象に多様な広報活動を展開したことで、情報を得た人の来訪意欲の向上につながられた点が評価された。

1. はじめに

島根県西部の石見地域の観光入込客は、県東部の25百万人と比べると、5.6百万人と少なく、観光振興が地域の大きな課題となっている（平成30年島根県観光動態調査）。そこで、公共インフラを地域固有の観光資源として発掘し、魅力を発信していくことで、既存観光スポットからの誘導や新たな立ち寄り場所となり、石見地域の観光振興や地域活性化につながることを期待し、インフラツーリズムの取組みを実施した。

2. 事業の概要

石見地域の各インフラを管理する国県市町・民間の各機関のほか、広報、観光部署や島根ふるさと親善大使、島根県立大学など、土木以外の機関も含んだ全37機関等が石見地域の観光振興に向け、一体となって取り組んだ。様々なインフラを紹介している「インフラツーリズムガイド」を発行（令和2年3月）し、観光施設、県内外の道の駅、高速道路SA/PA、JR山陰本線主要駅などに配布した。また、地元のインフラに関心を持ち、技術職を志す動機付けになればとの期待を込め、石見地域の全40の中学校全校生徒にも配布した。さらに、普段見ることでできないアングルやそのスケール、魅力をより感じてもらうと、無人航空機（ドローン）による空撮



しまねインフラツーリズムガイド

QRコードは、県観光情報サイトで公開している特集ページ

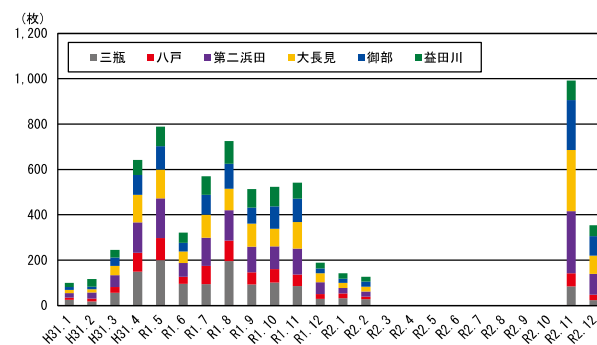


（職員直営）を行いYouTubeで公開したり、島根県の観光情報サイト内に、インフラツーリズム特集ページを公開したほか、テレビやラジオ放送、FacebookなどのSNSでも随時情報発信し、観光部署や国市町等とも情報をシェアし合うことで、幅広い層に届くような広報活動を展開した。

このほか、職員によりPRポスターおよび地域のインフラ紹介チラシを制作し、石見地域の全13道の駅において、期間集中のインフラツーリズムPRを展開した。また、石見地域の空の玄関口、萩・石見空港の利用促進を図るため、萩・石見空港利用者を対象としたオリジナルダムカードの配布なども実施している。

3. 事業の成果

インフラを巡ってみるとという新しい旅の楽しみ方に触れた一般の方々からは、「このような特集は素晴らしい」「普段入ることのない裏側を見ることができ、支えている人の仕事を知ることができ、ワクワクした」「まだ訪れたことがない橋も紹介されているので、参考にしながら再訪したい」など、好感を持たれた感想が多数寄せられており、石見地域への来訪意欲向上につながることができた。石見地域にある6ダムの公式ダムカードの配布状況によると、様々なツールにより、インフラツーリズムの魅力発信を始めて以降、ダムへの来訪者が増加傾向にある（前年同月比約1.8倍）。



ダムカードの配布状況（平成31年1月1日～令和2年12月31日）
令和2年2月28日～10月31日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため配布休止

4. おわりに

地域に整備されたインフラの役割、魅力を広く知ってもらうため、今後も、多様化する情報共有ツールなどを活用し、継続した情報発信に取り組んでいきたい。